

入試情報

平成30年度 一般入試

入試制度	出願期間	試験日	発表日	入学手続期間 (最終日消印有効)
V方式(I期)(センター利用)	1/4(木)~ 1/12(金)	1/13(土) 1/14(日)	2/14(水)	【1次(入学金納付)】 2/15(木)~2/21(水)
A日程	1/4(木)~ 1/19(金)	3教科型	2/2(金)	【2次(学費等納付、書類提出)】 2/26(月)~3/5(月)
		得意科目重視型	2/3(土)	
		学部学科特色型	2/4(日)	
B日程	1/4(木)~ 2/19(月)	2/26(月)	3/5(月)	3/6(火)~3/9(金)
V方式(II期)(センター利用)	1/4(木)~ 3/3(土)	1/13(土) 1/14(日)	3/15(木)	3/16(金)~3/22(木)

※試験内容の詳細や推薦入試・特別選考入試については入試情報ガイドブック・本学HP等にてご確認ください。

TOPICS 1

A日程の学部学科特色型(2/4)では、**経済学部3学科への併願が可能!**

経済学部はA日程〈学部学科特色型〉で学部内併願ができます。これを利用すると、1日で経済学科・経済ネットワーク学科・経営学科の3学科の併願ができ、チャンスが大きく広がります。

TOPICS 2

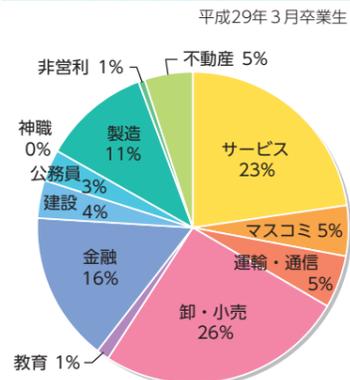
B日程では**経済ネットワーク学科**で本学の外国語試験に加えて**外部英語検定試験のスコアが利用可能!**(スコアを得点に換算)

就職実績

主な就職先 平成25~29年3月卒業生

- 【製造】** 日立製作所/大王製紙/キューピー/新日鐵住金/スズキ/富士重工業/富士通/日本電機/カシオ計算機/伊藤園/亀田製菓/アイリスオーヤマ/パイロットコーポレーション/協和発酵キリン/パナソニック コンシューマーマーケティング みずほフィナンシャルグループ/三井住友銀行/三菱東京UFJ銀行/りそなホールディングス/京葉銀行/長野銀行/野村証券/SMBC日興証券/日本生命保険/東京海上日動火災保険
- 【金融】** 電通/オリエンタルランド/ユー・エス・ジェイ/楽天/全日本空輸/東京ガス/富山テレビ放送/プリンスホテル/ミリアルリゾートホテルズ
- 【卸・小売】** 丸紅/国分/セブン-イレブン・ジャパン/高島屋/三越伊勢丹/ファーストリテイリング/ローソン/ファミリーマート/イトーヨーカ堂/紀伊国屋書店
- 【運輸・通信】** 東日本旅客鉄道/東海旅客鉄道/西日本旅客鉄道/京王電鉄/日本郵便/ソフトバンクモバイル/エイチ・アイ・エス/JTB首都圏
- 【公務員】** 県庁/市役所/東京都特別区/東京税関/警視庁/東京消防庁/自衛隊/刑務官

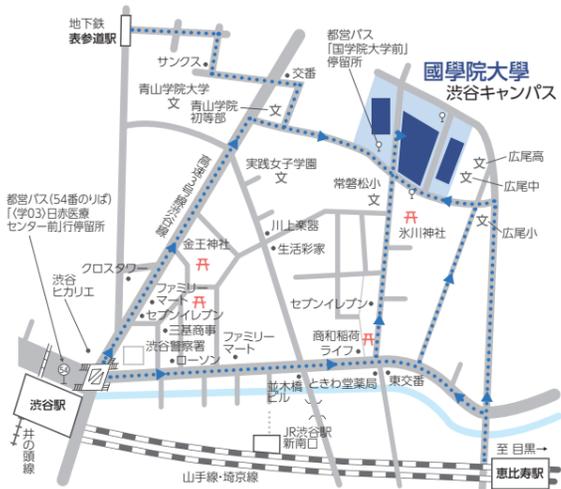
業種別就職状況比率



お問い合わせ 国學院大學経済学部資料室

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28
TEL 03-5466-0342 FAX 03-5466-2340
E-mail ecosiryo@kokugakuin.ac.jp

国學院大學経済学部 🔍 検索



これまでの50年 これからの50年

— 過去から学び 将来を見据え 経済学部は進化し続けます —



平成28年 経済学部は開設50周年を迎えました。

オープンキャンパス

国學院大學経済学部をより深く知っていただくために、オープンキャンパスを実施しています。ガイダンス、体験授業、個別相談、キャンパス案内等、多彩なプログラムを用意しています。人気の大学マスコット、こくびよんもお待ちしております!



国學院大學 経済学部

Faculty of Economics

2017

経済学科

Department of Economics

経済ネットワーク学科

Department of Socio-Economic Networking

経営学科

Department of Business Management

もっと日本を。もっと世界へ。

経済学科

対談 **井田 由愛** × **尾近 裕幸**
経済学科2年 経済学部教授

きっかけはクッキー！？

尾近(以下「尾」) ●井田さんは**國學院大學経済学部独自の入試方式 K-ENT3**でご入学されましたが、いつ頃から大学選びを意識していましたか？

井田(以下「井」) ●高校3年間フットサル部のマネージャーとして活動しながら、大学選びをしていました。具体的に國學院大學に興味をもったのは、高校2年生の出前授業で「**國學inクッキー**」の話を受けたときからです。

尾 ●たしかにあの出前授業は私が担当しましたけど、まさか井田さんが受けられていたとは奇遇ですね。

井 ●その後高校のキャリアガイダンス(3年次)で担当の先生から、「**國學院大學は協定校だしチャンスを生かして実力が試せるK-ENT3という入試方式があるよ**」といわれ、私も積極的に動くことが大事だと思い、國學院大學経済学部の授業を夏休みに受講しました。

尾 ●K-ENT3方式は全国にも珍しい入試制度で、高大連携授業(本学部1年生必修科目の「日本の経済」)を受講、合格することが要件ですね(これ以外に面接試験もあります)。「**日本の経済**」の印象はどうでしたか？

井 ●とてもわかりやすいテキストでした。4日間の集中講義でしたが、経済の初歩的な内容を先生がわかりやすく説明してくれましたし、質問した際に丁寧に解説してくれたのも印象に残っています。「**経済をもっと勉強したい!!**」と強く思いました。

尾 ●國學院大學の印象はどうでしたか？**オープンキャンパス**(以下OC)には参加されましたか？

井 ●春夏秋冬のOCすべてに参加しました。とてもきれいなキャンパスで、相談ブースでパンフレット(『オリエンテーション経済学部』)について質問したとき、経済学部長が難しいことをやさしく的確に答えてくださったうえに、たくさん勉強になる話ができ、そういった受験生にも親切だった点も決め手になりました。

尾 ●K-ENT3の面接のときに話した内容は覚えていますか？

井 ●緊張していて正確にはあまり覚えていませんが、國學院大學を志望した4つの理由(勉強面、施設面、先生、学生)を話したことと面接官だった先生(本田教授)はとてもよく覚えています。

歴史と伝統の國學院大學

尾 ●國學院大學経済学部経済学科に決めた理由は何ですか？

井 ●他大学も考えたのですが、経済を学ぶためには「**歴史や文化**」も大事だと思い、國學院大學経済学部を志望しました。また、実際に高大連携授業を受けてみて、自分に合っていると思いました。最も大きな決め手になったのは、学問をする際の環境面が充実しているところです。施設面はもちろんですが、先生や学生アドバイザーといった先輩にも恵まれているところです。

尾 ●歴史と伝統といえば、**成人加冠式**をご存知ですか？新成人の証しを頭に着ける古式になった成人儀式です。(実際の様子を井田さんにみせる)

井 ●女子は十二単のような衣装も着られるんですね。ぜひ参加してみたいです!!

尾 ●経済のどの辺に興味や関心がありますか？

井 ●高校では生活科学科だったので、経済とはほとんど無縁でした。でも、被服や調理の学習で、いずれも「**仕入れ**」や「**販売**」など経済活動と密接に結びついていることを知り、また文化祭での商売(ビジネス)の体験を通じて、もっと経済について学びたいと思いました。また、「日本の経済」を受けて、**金融が本来の役割を果たさず、逆にマネーゲームになったり不況の原因となったりしている理由**について今後は勉強したいです。



成人加冠式

尾 ●実際に大学に入った率直な感想はどうですか？

井 ●高校と違って男子比率の高さに正直驚きました。私のクラス(経済学科)は23人中女子が6人しかいないんです。でも、社会ではきっと男子比率が高いと思いますし、他学科(ネットワーク学科や経営学科)は女子の割合も高いので、授業になるとそれほど男子ばかりという感じはしないですね。

充実した学生生活

尾 ●授業は楽しいですか？

井 ●意外に「**少人数(15~20人)の授業**が多く、自分に合っていると思います。「**ビジネス・イングリッシュ**」というネイティブの先生が担当される英語の授業は、グループワークが多くて楽しいです。英語は苦手だったんですけど、こんなに楽しく学べて逆に好きになりました。他にも、「**世界の経済**」を受講しています。貿易のことなど「日本の経済」と結びついているのでおもしろい復習にもなりました。先生方も大変優しく、授業が終わった後**やオフィスアワー(研究室在室時間)**に質問すると丁寧に答えてくれます。



ビジネス・イングリッシュ

尾 ●OCには4回参加されていましたが、実際に入学してから分かったことはありましたか？

井 ●**緑がいっぱいで落ち着いていて渋谷っぽくないところ**が好きです。また、たくさんの書物がある図書館の素晴らしさに感動しています。それに、移動するスペースに屋根があるので雨に濡れずに教室間を移動できることや、友人との時間を過ごす**フリースペースが充実しているのも**うれしいです。不便と思うところが見当たらないくらいです!!

尾 ●新しく竣工された**5号館**には行ってみましたか？

井 ●行ってきました。木の匂いがして自然を感じられます。屋上はウッドデッキのスペースになっていて、特にオススメです。



5号館 屋上



5号館 エントランス

尾近 裕幸先生

國學院大學経済学部教授



プレゼンテーション大会

パワーポイントでの発表

放課後

16:00~
友人と渋谷を散歩。ヒカリ工地下のスイーツ店がある階はよく行きます。ファッションにも興味があるので、今度は原宿、表参道にも行ってみたいです。

井田 由愛さん

國學院大學経済学科2年

1限 8:50~10:20

「**社会保障の基礎**」
将来の自分にとって不可欠だと思い、受講しました。とてもわかりやすく、社会保障の基礎が学べる講義です。

2限 10:30~12:00

「**ビジネス・イングリッシュ**」
ネイティブの先生で心配でしたが、ペアやグループワークがとても楽しく英語を学んでいます。

#田さんの1日 Yuuna's School Life

ランチタイム 12:00~12:50

食堂に学生が多くてビックリ。いつもはお弁当持参で教室で食べています。おかげで遅刻はありません。それでも1Fの讃岐うどんは並んでも食べたいくらい美味しいです。



讃岐うどん

3限 12:50~14:20

「**基礎演習A**」
少人数形式で自分にあっています。担任の先生(女性)が起業した経験もあるので経営にも興味が出てきました。

4限 14:30~16:00

「**世界の経済**」
1年次に履修した「日本の経済」と結びついて面白いですし、復習にもなっています。



経済ネットワーク学学科

対談 **内山 育実** × **田原 裕子**
経済ネットワーク学学科4年 経済学部教授

きっかけはオープンキャンパス

田原(以下「田」) ●内山さんは**國學院大學経済学部独自の入試方式 K-ENT1**で入学しましたが、いつ頃どこで大学名を知りましたか？

内山(以下「内」) ●國學院大學の名前自体は、大学野球や駅伝で前から知っていました。具体的に入学を考えるようになったきっかけは、高校3年生の春に訪れた**オープンキャンパス(以下OC)**です。

田 ●OCでは大学や学部の説明はもちろん、教員や学生アドバイザーによるブース対応などもあります。ズバリ入学の決め手になったのは何ですか？

内 ●初めて来たときは、渋谷という都会にあり、駅近で交通の便もよく、しかもなんてキレイなキャンパスだろうと感動しました。入学を決めた一番の理由は、OCで**本田先生(のちに基礎演習の担任となる)**が経済ネットワーク学学科の目指す実践的な学びについて熱く語ってくださったことに感銘を受けて、「この大学にしよう!!」とそのとき決断しました。

田 ●具体的にはどんなこと？

内 ●最近の学生は机の上だけで勉強しようとする傾向が強いが、それだけだと断片的で現実を理解するには不十分。世の中の本当の課題を知るためにも、実際に外に出ないとダメ。経済ネットワーク学学科は経済学部においてそのような**フィールドワーク(現地調査)**ができる特徴的な学科だと。

田 ●K-ENT方式の面接試験は私が担当でしたね。どんなことをプレゼンしたのですか？

内 ●当時、シャッター商店街についてテレビでよく特集されていま

した。個人的にもその問題に興味があったので、**プレゼンテーション(プレゼン)**では高校の通学路にあるシャッター商店街と別のとても栄えている商店街に出かけて店主の方などにインタビューし、何が違うのか、どうしてシャッター商店街が生まれてしまうのかを考えて発表しました。

田 ●そうでした。講評の際に、それらの調査対象は立地などの点で大きく条件が異なるので、そもそも比較できるものなのか質問したことを覚えています。

内 ●私もよく覚えています。まさに「目からウロコ」でした。

他大学にはない面白い特長をもった学科

田 ●高校生のときから調査に関心があったということは、**國學院大學経済学部の中でも経済ネットワーク学学科**にマッチしていると思いますが、最終的に決めた理由は何かですか？

内 ●もともとシャッター商店街や高齢化などに関心があったし、自分で調査してみて、百聞は一見に如かずと思い知らされました。だから経済ネットワーク学学科の「実際に現地を訪問して考え、調査して、自分の頭で考える」ことを実現する**カリキュラム(教育課程)**にとっても魅力を感じました。また、そのための基礎的で、しかも実践的な講義(例えば、アンケート調査入門、調査研究入門、フィールドスタディ・ワークなど)が充実している点も決め手になりました。

田 ●実際に経済ネットワーク学学科に入ってみて、率直な感想はどうですか？

内 ●私の**基礎演習(初年次教育のための必修科目)**のクラスは、男女比が1:1というか、実は女子の方が1人多かったんです。経済学部は男子が多いというイメージを持っていたので、ちょっと意外でした。

田 ●経済ネットワーク学学科は女子が多くて華やか？

内 ●華やかというより大人しくなかったのかな(笑)。**ゼミ(演習)**に入っている学生も多いですし、海外ボランティアに参加したり、とても活動的な学生が多くて刺激になります。共感できる友人も増えました。

田 ●勉強面は？

内 ●経済学部の3つの学科は、「あまり隔たりがないなあ」と感じました。履修できる講義が学科ごとに分けられているわけではないので、好きな講義を受けることができますし、他学科の学生と関わる機会も多くできました。

ゼミを中心とした充実した学生生活

田 ●ところで、実際にフィールドワークを行う授業が履修できるようになるのは2年後期からですが、それまでよくモチベーションを持続できましたね。

内 ●問題意識は持ち続けていました。社会・経済問題についてお父さんと話したり、おばあちゃんの介護に接したりと。知りたい欲の塊になっていたんです。

田 ●念願が叶って(!?)田原ゼミに合格できたのですが、ゼミは楽しいですか？正直にどうぞ。

内 ●ゼミは本当に楽しいです。日々の授業は先生と先輩、そして後輩とみんなで一緒に勉強するので**活発な意見交換**ができ、学ぶことばかりです。こんなに**近い距離で先生と関わることができる**のはゼミならではの良さだと思います。

田 ●これまで講義で学んだことはゼミで活きましたか？

内 ●すごく。とくにアンケートの方法ですね。「自記式」と「他記式」の違いとか、「郵送回収法」の問題点とか、実際に活用することで実感できました。

田 ●スキルは実際に使ってこそ理解が深まりますよね。2年次には代官山でゴミのポイ捨てと迷惑駐車輸の現状を調査して地域の方々に向けて発信しましたし、3年次では**神奈川産学チャレンジプログラム**に参加、**見事に最優秀賞を獲得**できましたね。

内 ●とても嬉しかったです。

田 ●現地調査は大変でしたね。

内 ●地道に根気よく店舗調査しました。真夏の調査は正直暑かったですが、独自の調査を行ったことを表彰式でも褒めていただきました。報われてよかったです(笑)。

田 ●そして卒業論文は**経済学部懸賞論文の最優秀賞**に輝き、有終の美を飾りましたね。



プレゼンテーション



フィールドワーク



内 ●ありがとうございます。卒業論文は「都市の農業空間の活用策について」というテーマで、大都市圏の遊休農地を活用した新しいビジネスについて研究しました。1人で調査・研究するのはK-ENT方式の受験でのプレゼンテーション以来でしたが、授業やゼミを通じて調査や分析の手法を学んでいたため、**より実践的で具体的な研究ができた**と思います。多くの情報を整理し、首尾一貫した論文にするのは大変でしたが、具体的なビジネスについて現地調査をしたり、資料を分析するのはとても楽しかったです。また、最優秀賞をいただき、田原先生に恩返しできてうれしいです！

卒業後の夢

田 ●話は変わりますが、就活も順調でしたね。

内 ●はい。4月から化粧品やサプリメントを製造するメーカーに総合職として入社します。就職活動では大学の実践的な授業がとても役に立ちました。特に**キャリアデザイン**の授業でエントリーシートに書くための自己PRや自分の長所や短所などをじっくりと考えたことが役立ちました。1~2年生のうちに受講しておいたので、就活では一歩早いスタートが切れたと思います。

田 ●企業選びの決め手は何でしたか？

内 ●3年次に参加した**産学チャレンジプログラム**を通じてセルフメディケーションについて研究したことで、セルフメディケーションや健康寿命の増進に係わるような仕事がしたいと考えようになりました。希望通りの企業から内定がいただけたので、入社がとっても楽しみです。

田 ●内山さんは経済ネットワーク学学科の「自信作」ですから、社会人としても大いに活躍してくれることを期待していますよ。

内 ●ありがとうございます。自分がこんなに成長できたのは大学4年間でたくさんの方のアドバイスをいただいたからだと感謝しています。社会人になってもこの充実した4年間を忘れずに一杯頑張ります！

内山 育実さん

國學院大學経済ネットワーク学学科4年

田原 裕子先生

國學院大學経済学部教授

1限 8:50~10:20

「**少子高齢化社会と社会保障**」
田原先生の授業です。日本の社会保障制度の現状や課題をはじめ、福祉国家やシティズンシップについてとても勉強になります。

2限 10:30~12:00

「**調査研究入門**」
ゼミで学べる内容に近いのでとても役に立ちますし、講義で得られた知識や興味関心をゼミで応用したり実践できたりします。

内山さんの1日

Ikumi's School Life

ランチタイム 12:00~12:50

1F食堂の讃岐うどんも好きですが、最近キッチンカーがキャンパスの前に出店しているので、友だちと一緒に並んだりします。タコライスがオススメです!!



キッチンカー

3限 12:50~14:20

空いた時間はAMC(図書館)のコンピュータ教室でゼミのレジュメ(報告資料)作成など準備に。1日に空きコマを必ずつくって効率よく学習するようにしています。図書館は静かでキレイなので、家より勉強がはかどりますよ。

4限 14:30~16:00

「**情報社会と職業**」
有効求人倍率、若者の就職活動、新卒採用状況、労働法など実際に就活が迫っているのでとても役に立ちます。

放課後 16:00~

「**ひまわりガーデン代官山坂**」
小さいお子さんから高齢者の方まで、代官山の住民の方や遊びに来た人が協働してひまわりを育てる活動です。田原ゼミは毎年、種まき、鑑賞会、収穫祭などのイベントにボランティアとして参加しています。私も専属カメラマンとして活躍中です(笑)。



経営学科

対談 林 駿佑 × 藤井 瞳
経営学科4年 経済学部資料室員

流行の発信地「渋谷」で学びたい!!

藤井(以下「藤」)●林さんが國學院大學経済学部に入学したきっかけは何だったんでしょうか?

林(以下「林」)●高校時代は3年間ハンドボール部に所属しながら、大学選びをしていました。高校2年生の夏休みに、國學院大學の**オープンキャンパス(以下OC)**に参加しました。校舎や図書館がとてもキレイで、ガイダンスでお話いただいた先生や構内を案内してくださった先輩方がとても親切にしてくださいまして、「この大学で学びたい!!」という気持ちが強くなったのがきっかけです。

藤●私も4月から國學院大學にお世話になっていますが、本当に**キャンパスや校舎がキレイ**ですね。実際に入ってみると、渋谷といっても緑がたくさんでホント静かです!! 林さんは現在1人暮らしをされているそうですが、その点について不安はありませんでしたか?

林●私は千葉県で育ってきたので、東京の中心で大学時代を過ごしたいという気持ちを持っていました。そこで、**渋谷という流行発信地**で最先端の学問を4年間勉強したいと思い、國學院大學を第一志望にして受験勉強に励みました。私は**一般入試(A日程)**で受験しましたが、無事合格できました。1人暮らしに対する不安は少しありましたが、家計のやりくりなど日々学ぶことが多く、充実した毎日を過ごしています。

経済と経営が同時に学べる!!

藤●林さんが國學院大學経済学部のなかでも経営学科に決めた理由を教えてくださいませんか?

林●私の実家が千葉県香取郡で老舗旅館を経営しております、小さいころから両親の働く姿を身近で見てきたので、以前から経営に対する関心を持っていました。そのため、大学では経営学やマーケティングを学びたいという気持ちが強く、経営学科を志願しました。そして、國學院大學経済学部では**経済と経営が両方同時に学べる**という特徴があり、その点が他大学にはない魅力でした。

藤●明確な目標をお持ちなんですね。私は学生時代、中国語学科だったので、経済や経営のことはよくわからないのですが、具体的にそれはどのように魅力的なのですか?

林●経済学と経営学の両方を学べるので、企業経営のことだけでなく、マクロ経済からミクロ経済そして金融から国際経済まで経済全般に対する幅広い知識を得ることができるのが魅力です。個人的には、消費増税と消費行動が連動していることも興味深かったです。例えば、消費税が上がったら買い控えが起きるのは予想できていましたけど、実際に私たち学生は消費税が上がるのを見越して増税前から節約していたんです。

藤●なるほど、私たちの身近なことでも経済と経営はつながっているんですね(驚)。経営分野で印象に残っている科目があれば教えてください。

林●**「現代の企業経営」**という科目ですね。現役の会社社長や役員といった講師が外部から毎週大学に来てくれて講義をするんです。普段の講義ではなかなか聞くことができない、**経営者の生の声**を聞くことができるので、とても興味深く講義を受けることができました。



「現代の企業経営」授業風景

ゼミナールに入ってマーケティングを学ぶ

藤●それでは、現在の大学での学びについて教えてください。

林●大学での学びは**ゼミナール(少数人数形式で専門科目を学ぶ演習形式の授業。通称ゼミ)**中心でした。念願が叶って、「マーケティング」を専門的に学ぶ宮下雄治先生のゼミに入ることができました!!

藤●そもそもどうしてマーケティングを専攻したのですか?



ゼミナール風景

林●宮下先生の授業を履修したのがきっかけなのですが、もともと私はマーケティングとはお金を儲けるための学問なのかと思っていました。もちろん売上を上げるためのテクニックに関する話も時々ありますが、宮下先生の話で印象的だったのが**「マーケティングはどうすればお客様が喜ぶかを追究する学問だ」**という話でした。まさに「これだ!!」と思いました。私の両親の仕事もそうですが、これが商売の原点であり最も重要なことではないかと思い、**顧客満足(CS)**を追求するマーケティングを学んでいます。

藤●なるほど、よくわかりました。それではゼミの活動について具体的に教えてくださいませんか?

林●学内外の各種コンテストや**ディベート大会**などに参加しました。ディベート大会では、他大学のマーケティングゼミナール(5大学)と連携して、マーケティングや経営に関連するテーマで3ヶ月間の準備段階を経て討論を行いました。



ディベート大会

藤●ディベートという言葉はよく聞きますが、具体的にどのようなことをやるのですか?

林●設定されたある論題に対して、肯定側と否定側に分かれ、決められたルールや時間にのっとり討論をします。これを通して、論理的にものごとを考える、伝えることの難しさと重要性を学んでいます。たとえば「セブン・イレブンのドーナツが今後拡大するかどうか」というテーマで、データを使いながら分析し、説得力のある議論をくみだします。

藤●いかにも大学生らしい学びですね。そのほかの活動で印象的なものはありますか?

林●昨年、私が所属している経営学科が新設されて10周年を迎えました。それを記念して**「ビジネスコンテスト」**が全学生を対象に開催されました。「10年後の社会的課題を解決するビジネスプラン」という応募テーマに対して、ゼミでは1人ひとつもしくはグループで課題を発見し、その解決に向けたビジネスを

放課後 16:00~

バスケットボールのサークル(BIRDS)に所属しています。60~70人くらいで活動しています。他大学との交流も盛んで、とても楽しいです。大井町線沿いの戸越公園駅で毎週月曜日に練習しています。友人と代々木体育館にもよく試合を観に行きますよ。



バスケットボールサークル BIRDS

藤井 瞳

國學院大學経済学部資料室員

1限 8:50~10:20

「原価計算」
数字に強くなるために受講しました。売上原価の視点からビジネスを考えるととても奥が深いです。

2限 10:30~12:00

「ゼミナール」
通常2~3限と連続して行っています。グループワークでみんなと議論するのが楽しく、自分にとって力になります。

林さんの1日

Shunsuke's School Life.

ランチタイム 12:00~12:50

学食で食べることが多いです。2階の食堂の「とり重」が一番好きですね。3限が空いたら大学周辺のカレー、ラーメン、お好み焼きさんなどにもよく行きます。ラーメンも好きで特にいろんな店を食歩いています。



食堂の「とり重」

3限 12:50~14:20

「消費者と広告」
これも宮下先生の授業です。授業の内容もゼミと関係性が強く、非常にためになります。

4限 14:30~16:00

「経営管理」
経営戦略、モチベーション、リーダーシップなど企業経営に必要な要素が満遍なく学べます。

林 駿佑さん

國學院大學経営学科4年

